



Exchange Online

パブリックフォルダーの管理



目次

1.パブリックフォルダーの作成.....	4
1.1パブリックフォルダーにおける各種制限.....	4
1.1.1パブリックフォルダーに関する制限.....	4
1.1.2アイテムのサイズ制限（添付ファイルの最大サイズ）.....	4
1.2パブリックフォルダーの作成.....	4
1.2.1パブリックフォルダー管理画面への接続.....	4
1.2.2パブリックフォルダーメールボックスの作成.....	5
1.2.3パブリックフォルダーの作成.....	7
1.2.4パブリックフォルダーへの接続.....	10
1.2.5パブリックフォルダーのアクセス権設定.....	11
1.2.6メールを有効にする.....	15
2.パブリックフォルダーの各種設定.....	17
2.1パブリックフォルダー設定の表示・編集.....	17
2.1.1全般.....	18
2.1.2統計.....	19
2.1.3制限.....	20
2.1.4全般的なメールプロパティ.....	21
2.1.5メールアドレス.....	23
2.1.6所属するグループ.....	26
2.1.7配信オプション.....	26
2.1.8メールフローの設定.....	32
3.Power Shellによるパブリックフォルダーの操作.....	34
3.1PowerShellによるパブリックフォルダーの操作（1章に相当）.....	34
3.1.1パブリックフォルダーメールボックスの作成.....	34
3.1.2パブリックフォルダーの作成.....	34
3.1.3パブリックフォルダーのアクセス権設定.....	35
3.1.4メールの有効化・無効化.....	36

3.2 PowerShellによるパブリックフォルダーの操作（2章に相当）	37
3.2.1 全般	37
3.2.2 統計	39
3.2.3 制限	39
3.2.4 全般的なメールプロパティ	43
3.2.5 メールアドレス	45
3.2.6 所属するグループ	45
3.2.7 配信オプション	46
3.2.8 メールフローの設定	49
4. その他	54
4.1 使用状況レポート	54
4.1.1 使用状況のレポート	54

1. パブリックフォルダーの作成

この章では、パブリックフォルダーの作成について説明します。

■ 1.1 パブリックフォルダーにおける各種制限

1.1.1 パブリックフォルダーに関する制限

Office 365 Exchange Onlineのパブリックフォルダーには、既定で以下の様な制限があります。

項目名	説明	制限規定値
警告を表示する使用量	パブリックフォルダの大きさが 上限に近づいていることを警告するサイズ	50GB
投稿を禁止するサイズ	パブリックフォルダの最大サイズ	49GB
アイテムの最大サイズ	添付ファイルを含めた1投稿あたりの最大サイズ	25MB
削除済みアイテムの保持期間	削除済みアイテムを本当に削除するまでの保持期間	30.00:00:00 (30日)
保存期間	アイテムの保存期間	14.00:00:00 (14日)

1.1.2 アイテムのサイズ制限（添付ファイルの最大サイズ）

Office 365 Exchange Online のパブリックフォルダに投稿可能なアイテムのサイズの制限は、添付ファイルを含めて25 MB です。

この制限よりも大きなアイテムは投稿できません。

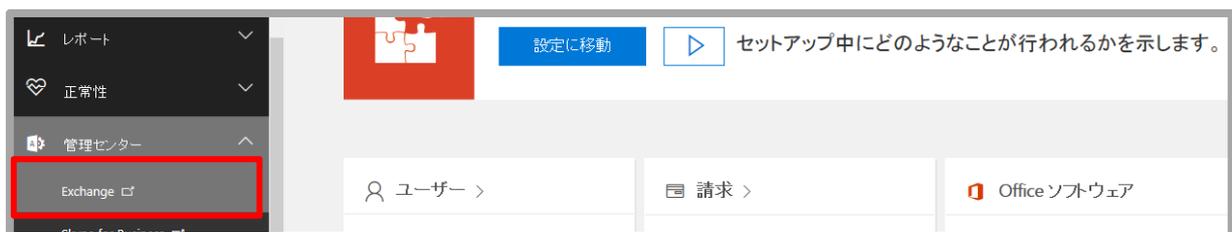
<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/exchange-online-limits>

■ 1.2 パブリックフォルダーの作成

Office 365 Exchange Onlineでパブリックフォルダー機能を使用するためには、パブリックフォルダーを作成する必要があります。

1.2.1 パブリックフォルダー管理画面への接続

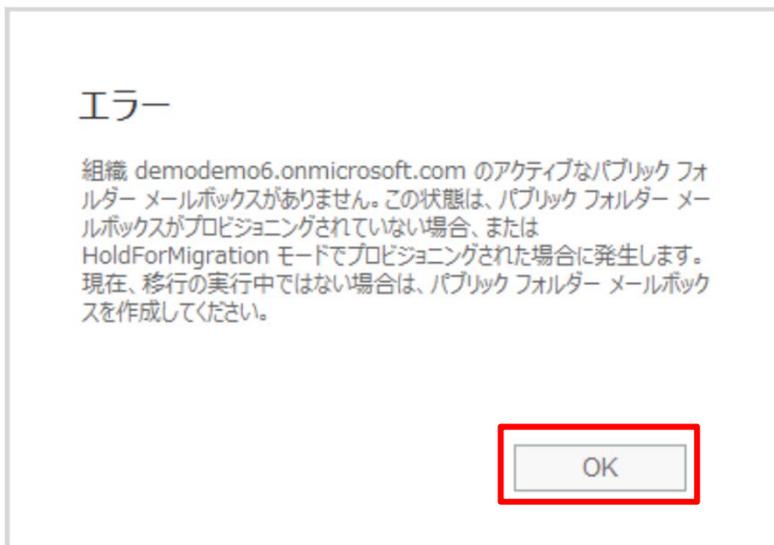
① Office 365管理センターの管理者メニューから [Exchange] をクリックします。



② Exchange管理センターで [パブリックフォルダー] をクリックします。



③ エラーメッセージが表示された場合は [OK] をクリックします。



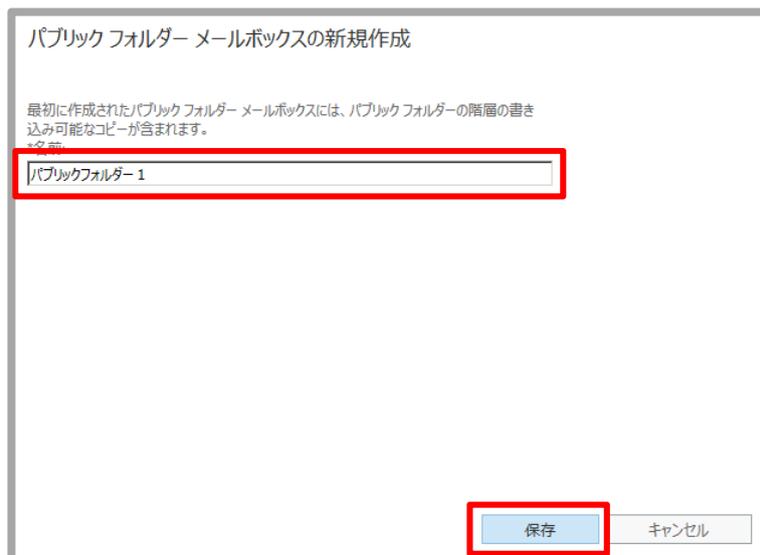
1.2.2 パブリックフォルダーメールボックスの作成

パブリックフォルダーを作成するには、まず「パブリックフォルダーメールボックス」を作成する必要があります。

- ① Exchange管理センターで [パブリックフォルダー] > [パブリックフォルダーメールボックス] と開き、 [+ (新規作成)] をクリックします。



- ② [パブリックフォルダーメールボックスの新規作成] で [名前] を入力して [保存] をクリックします。



- ③ パブリックフォルダーメールボックスが作成されます。



1.2.3 パブリックフォルダーの作成

パブリックフォルダー用のメールボックスの作成が済んだら、パブリックフォルダーの作成を行います。

- ① Exchange管理センターで [パブリックフォルダー] > [パブリックフォルダー] と開き、 [+ (新規作成)] をクリックします。



- ② [パブリックフォルダーの新規作成] で [名前] を入力して [保存] をクリックします。

パブリックフォルダーの新規作成

*名前:

パブリックフォルダー-1'

パス:

\

保存 キャンセル

③ パブリックフォルダーが作成されます。

The screenshot shows the Exchange Management Center interface. On the left is a navigation pane with options like 'ダッシュボード', '受信者', 'アクセス許可', 'コンプライアンス管理', '組織', '保護', '高度な脅威', and 'メールフロー'. The main area is titled 'パブリック フォルダー' and contains a table of public folders. The table has three columns: 'サブフォルダー名', 'サブフォルダーがある', and 'メールが有効である'. The first row is highlighted with a red box and contains the text 'パブリックフォルダー-1', 'いいえ', and 'いいえ'.

サブフォルダー名	サブフォルダーがある	メールが有効である
パブリックフォルダー-1	いいえ	いいえ

④ サブフォルダーを作成することも可能です。
サブフォルダーを作成する場合には、作成先のフォルダ名をクリックします。

This screenshot is identical to the previous one, but the red box highlights the folder name 'パブリックフォルダー-1' in the table, indicating it is the target for creating a subfolder.

⑤ [+ (新規作成)] をクリックします。

This screenshot shows the same interface, but the red box highlights the '+' icon in the toolbar above the table, indicating the next step is to click it to create a new subfolder.

- ⑥ [パブリックフォルダーの新規作成] で [名前] を入力して [保存] をクリックします。

パブリックフォルダーの新規作成

名前:

パス:

- ⑦ サブフォルダーが作成されます。

Exchange 管理センター

ダッシュボード パブリックフォルダー パブリックフォルダー メールボックス

受信者

アクセス許可

コンプライアンス管理

組織

保護

高度な脅威

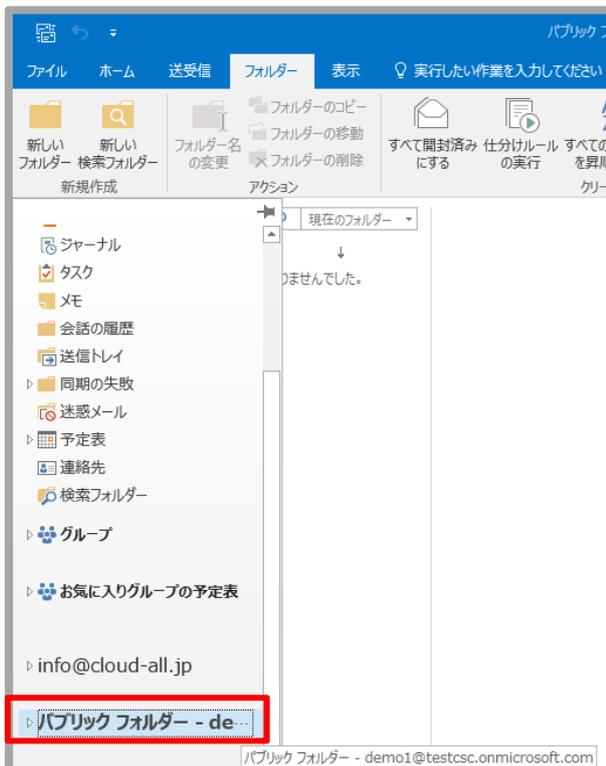
+ ✎ 🗑️ ↑ ↻ ...

サブフォルダー名	サブフォルダーがある	メールが有効である
<input type="text" value="パブリックフォルダー-1'-1"/>	いいえ	いいえ

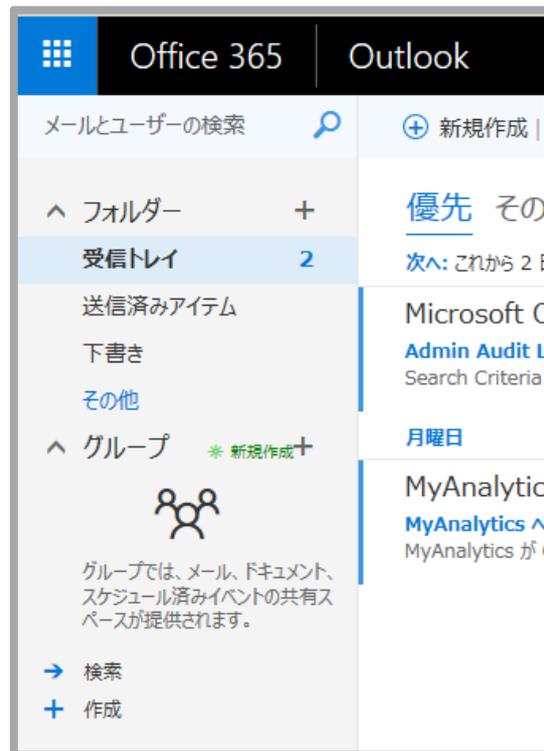
1.2.4 パブリックフォルダーへの接続

パブリックフォルダーへの接続にはOutlook（2007/2010/2013）が必要です。
OutlookでOffice365に接続し、すべてのフォルダーを表示することでパブリックフォルダーにアクセスすることができます。
Outlook Web Appでは接続することができません。

【Outlook】



【Outlook Web App】



1.2.5 パブリックフォルダーもアクセス権設定

パブリックフォルダーにはアクセス権を設定することが可能です。パブリックフォルダーに設定できるアクセス権を以下に記します。

アクセス許可を組み合わせた [アクセス許可レベル] を使ってアクセス権設定を行います。アクセス許可のチェックを増減させることでアクセス許可レベルをカスタマイズすることも可能です。アクセス許可レベルを編集すると [カスタム] と表示されます。

アクセス許可	アクセス許可レベル								
	参照者	寄稿者	非編集作成者	作成者	編集者	発行作成者	発行編集者	所有者	カスタム
アイテムの作成		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
アイテムの参照	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	
サブフォルダーの作成						✓	✓	✓	
作成アイテムの編集				✓	✓	✓	✓	✓	
すべて編集					✓		✓	✓	
フォルダーの所有者								✓	
フォルダーの連絡先								✓	
フォルダーの表示	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
作成アイテムの作成			✓	✓	✓	✓	✓	✓	
全て削除					✓	✓	✓	✓	

▼それぞれのアクセス許可レベルで可能なこと

アクセス許可レベル	出来ること
所有者	フォルダー内のすべての権限。 すべてのアイテムの作成、読み取り、変更、削除。 サブフォルダーの作成。 フォルダーのアクセス権設定。
発行編集者	すべてのアイテムの作成、読み取り、変更、削除。 サブフォルダーの作成。
編集者	すべてのアイテムの作成、読み取り、変更、削除。
発行作成者	すべてのアイテムの作成、読み取り。 自分が作成したアイテムの変更、削除。 サブフォルダーの作成。
作成者	すべてのアイテムの作成、読み取り。 自分が作成したアイテムの変更、削除。
非編集作成者	すべてのアイテムの作成、読み取り。 自分が作成したアイテムの削除。
参照者	すべてのアイテムの読み取り。
寄稿者	すべてのアイテムの作成。 フォルダーのコンテンツは非表示。
なし	アクセスできません。

パブリックフォルダーを作成した際に、以下のアクセス許可が自動的に割り当てられます。

[既定のユーザー（認証されたユーザー）] → 「作成者」

[匿名ユーザー] → 「なし」

このアクセス権は管理ツールには表示されませんが、PowerShellのコマンドで確認することができます。

```
PS C:\> Get-PublicFolderClientPermission ¥PF-2

FolderName      User              AccessRights
-----
PF-2            既定              [Author]
PF-2            匿名              [None]
```

- ① アクセス権を設定するフォルダーを選択して [フォルダーのアクセス許可] の [管理] をクリックします。



- ② [+ (追加)] をクリックします。



- ③ [パブリックフォルダーアクセス許可] で [参照] をクリックします。

パブリックフォルダー アクセス許可

*ユーザー:
 参照...

アクセス許可レベル:
発行編集者

<input checked="" type="checkbox"/> アイテムの作成	<input type="checkbox"/> フォルダーの所有者
<input checked="" type="checkbox"/> アイテムの参照	<input type="checkbox"/> フォルダーの連絡先
<input checked="" type="checkbox"/> サブフォルダーの作成	<input checked="" type="checkbox"/> フォルダーの表示
<input checked="" type="checkbox"/> 作成アイテムの編集	<input checked="" type="checkbox"/> 作成アイテムの作成
<input checked="" type="checkbox"/> すべて編集	<input checked="" type="checkbox"/> すべて削除

保存 キャンセル

- ④ アクセス許可を与えるユーザー・グループを選択して [OK] をクリックします。

表示名	エイリアス	受信者の種類	プライマリ SMTP...
クラウド	cloud	ユーザー メール...	cloud@testsc...
デモユーザー 1	demo1	ユーザー メール...	demo1@testc...
マネージャー	mgr	ユーザー メール...	mgr@testsc.o...
総務部	soumu	メールが有効な...	soumu@testcs...

OK キャンセル

- ⑤ [アクセス許可レベル] を選択して [保存] をクリックします。

パブリックフォルダー アクセス許可

*ユーザー:
demo1 参照...

アクセス許可レベル:
発行編集者

<input checked="" type="checkbox"/> アイテムの作成	<input type="checkbox"/> フォルダーの所有者
<input checked="" type="checkbox"/> アイテムの参照	<input type="checkbox"/> フォルダーの連絡先
<input checked="" type="checkbox"/> サブフォルダーの作成	<input checked="" type="checkbox"/> フォルダーの表示
<input checked="" type="checkbox"/> 作成アイテムの編集	<input checked="" type="checkbox"/> 作成アイテムの作成
<input checked="" type="checkbox"/> すべて編集	<input checked="" type="checkbox"/> すべて削除

保存 キャンセル

⑥ ユーザーとアクセス許可の指定が終わったら [保存] をクリックします。

パブリックフォルダー 1'

このパブリック フォルダーにアクセスできるユーザーを追加または削除し、ユーザーのアクセス許可を管理します。

+ ✎ -

名前	アクセス許可レベル	SID
demo1	発行編集者	

保存 キャンセル

⑦ 「閉じる」をクリックします。

保存が正常に完了しました。

操作を完了しました。

閉じる

1.2.6 パブリックフォルダーへの接続

パブリックフォルダへの投稿をメール送信で行えるようにする場合は、パブリックフォルダーのメールを有効にします。この手順は省略可能です。パブリックフォルダーのメールを有効にしない場合、ユーザーはアイテムをOutlookから投稿します。パブリックフォルダーのメールを有効にした場合、パブリックフォルダーのメールアドレスのエイリアス（@の前の部分）はパブリックフォルダの名前と同じになります。同じ名前の受信者がすでにいる場合は、エイリアスに番号が追加されます。例えば、SalesGという名前の配布グループが有って、SalesGという名前のパブリックフォルダのメールを有効にした場合、エイリアスはSalesG1になります。

- ① Exchange管理センターから「パブリックフォルダー」をクリックします。
メールを有効にするパブリックフォルダーを選択し、右側の詳細ペインで「メールの設定-無効」の下の「有効にする」をクリックします。



Exchange 管理センター

ダッシュボード
受信者
アクセス許可
コンプライアンス管理
組織
保護
高度な脅威
メールフロー
モバイル
パブリックフォルダー

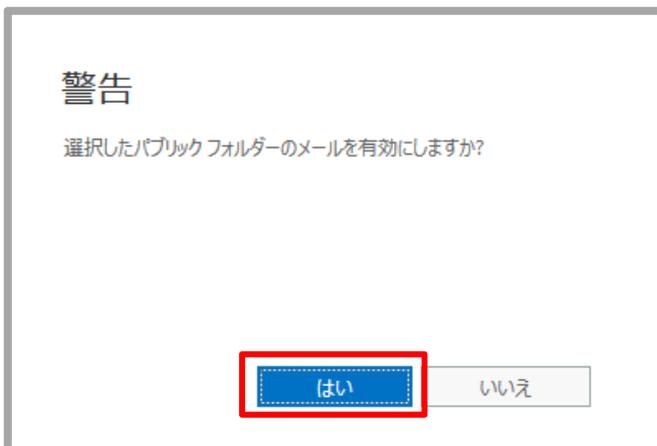
パブリックフォルダー パブリックフォルダー メールボックス

+ ✎ 🗑️ ↑ 🔄 ⋮

▼ 'パブリックフォルダー-1'

サブフォルダー名	サブフォルダーがある	メールが有効である	
パブリックフォルダー-1-1	いいえ	いいえ	パブリックフォルダー 1' パス: \パブリックフォルダー-1' アイテム総数: 0 更新日時: 2017/04/13 11:22 サイズ (MB): 0 メールの設定-無効 有効にする フォルダーのアクセス許可 管理

- ② 警告が表示されますが「はい」をクリックします。



警告

選択したパブリックフォルダーのメールを有効にしますか?

はい いいえ

③ 「メールの設定-有効」になっていることを確認します。

パブリック フォルダー パブリック フォルダー メールボックス

+ ✎ 🗑️ ↑ 🔄 …

√パブリックフォルダー 1'

サブフォルダー名 ▲	サブフォルダーがある	メールが有効である	
パブリックフォルダー 1'-1	いいえ	いいえ	<p>パブリックフォルダー 1'</p> <p>パス: \パブリックフォルダー 1' アイテム総数: 0 更新日時: 2017/04/13 11:22 サイズ (MB): 0</p> <p>メールの設定 - 有効 無効にする</p> <p>フォルダーのアクセス許可 管理</p>

2. パブリックフォルダーの各種設定

この章では、パブリックフォルダーの各種設定について説明します。

■ 2.1 パブリックフォルダー設定の表示・編集

パブリックフォルダーの各種設定の表示・変更を行う手順を記します。

- ① 設定の表示・変更を行うパブリックフォルダーを選択し [ (編集)] をクリックします。



パブリックフォルダー パブリックフォルダー メールボックス

+     ...

サブフォルダー名 サブフォルダーがある メールが有効である

パブリックフォルダー 1'	はい	はい	パブリックフォルダー 1'
---------------	----	----	---------------

パス: \\パブリックフォルダー 1'
アイテム総数: 0
更新日時: 2017/04/13 13:09

パブリックフォルダー設定項目は、メールが有効/無効で表示される内容が異なります。メールが有効なパブリックフォルダーには、メールに関する設定項目が追加で表示されます。

【メールが無効】



パブリックフォルダー 1'

全権
統計
制限

*名前:
パブリックフォルダー 1'

パス:
\\パブリックフォルダー 1'

アイテム総数:
0

サイズ (MB):
0

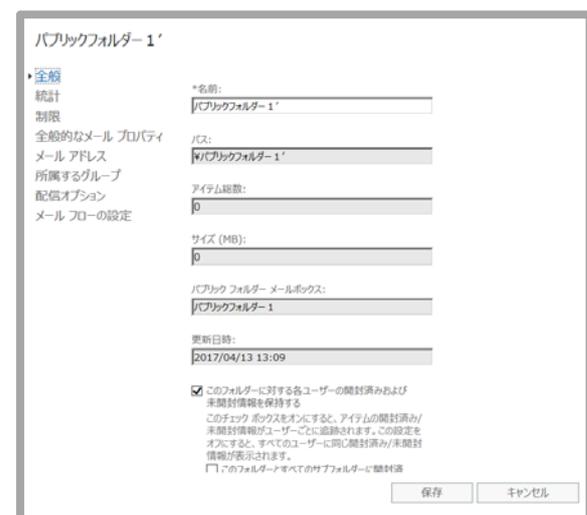
パブリック フォルダール メールボックス:
パブリックフォルダー 1'

更新日時:
2017/04/13 14:54

このフォルダに対する各ユーザーの開封済みおよび未開封情報を保持する
このチェック ボックスをオンにすると、アイテムの開封済み/未開封情報がユーザーごとに記録されます。この設定をオフにすると、すべてのユーザーに同じ開封済み/未開封情報が表示されます。
[] このフォルダに対してすべてのサブフォルダに開封済

保存 キャンセル

【メールが有効】



パブリックフォルダー 1'

全権
統計
制限

全般的なメール プロパティ
メール アドレス
所属するグループ
配信オプション
メール フローの設定

*名前:
パブリックフォルダー 1'

パス:
\\パブリックフォルダー 1'

アイテム総数:
0

サイズ (MB):
0

パブリック フォルダール メールボックス:
パブリックフォルダー 1'

更新日時:
2017/04/13 13:09

このフォルダに対する各ユーザーの開封済みおよび未開封情報を保持する
このチェック ボックスをオンにすると、アイテムの開封済み/未開封情報がユーザーごとに記録されます。この設定をオフにすると、すべてのユーザーに同じ開封済み/未開封情報が表示されます。
[] このフォルダに対してすべてのサブフォルダに開封済

保存 キャンセル

2.1.1 全般

[全般] では以下の項目が表示されます。

The screenshot shows the 'Public Folder - 1' settings dialog box with the 'General' tab selected. The fields are as follows:

- 名前: パブリックフォルダー-1
- パス: \\パブリックフォルダー-1\
- アイテム総数: 0
- サイズ (MB): 0
- パブリックフォルダー メールボックス: パブリックフォルダー-1
- 更新日時: 2017/04/13 14:54
- チェックボックス: このフォルダーに対する各ユーザーの開封済みおよび未開封状態を保持する

Below the checkbox, there is a warning message: 'このチェック ボックスをオンにすると、アイテムの開封済み/未開封情報がユーザーごとに追跡されます。この設定をオンのすると、すべてのユーザーに同じ開封済み/未開封情報が表示されます。' At the bottom, there are '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

[名前]

パブリックフォルダーの表示名を変更することができます。

[パス]

パブリックフォルダーへのパスが表示されます。(読み取り専用)

[アイテム総数]

パブリックフォルダー内のアイテム数が表示されます。(読み取り専用)

[サイズ]

パブリックフォルダーのサイズが表示されます。(読み取り専用)

[パブリックフォルダーメールボックス]

パブリックフォルダーが格納されているメールボックスが表示されます。(読み取り専用)

[更新日時]

構成が最後に変更された日時が表示されます。(読み取り専用)

[このフォルダーに対する各ユーザーの開封済みおよび未開封状態を保持する]

このチェックボックスがオン(既定)の場合、ユーザー毎の既読/未読が管理されます。配下にサブフォルダーが有る場合は[このフォルダーと全てのサブフォルダーに開封済みおよび未開封の設定を適用する]のチェックボックスが表示されますが、このチェックをオンにするとエラーになります。(2017/4/1時点)

The screenshot shows an error dialog box with the following text:

- 保存が終了していません。
- 操作が停止しました。
- クリップボードにコピー...
- エラー
- Object reference not set to an instance of an object.

At the bottom, there is a '閉じる' (Close) button.

2.1.2 統計

〔統計〕では以下の項目が表示されます。〔統計〕は表示のみで変更は行えません。

The screenshot shows a settings window titled 'パブリックフォルダー 1' (Public Folder 1). On the left, there is a sidebar with three options: '全般' (General), '統計' (Statistics), and '制限' (Limits). The '統計' option is selected. The main area contains several input fields, all of which currently display the value '0':

- 関連するアイテム: 0
- 削除済みアイテム: 0
- 関連するアイテムの合計サイズ (MB): 0
- 削除済みアイテムの合計サイズ (MB): 0
- 所有者の数: 0
- 連絡先の数: 0
- 最終更新日時: 2017/04/13 14:54

At the bottom right of the window, there are two buttons: '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel).

〔関連するアイテム〕

パブリックフォルダー内の関連付けられたアイテムの数が表示されます。関連付けられたアイテムには、パブリックフォルダーに構成されているルールなどが含まれます。（読み取り専用）

〔削除済みアイテム〕

パブリックフォルダー内の削除済みアイテム数が表示されます。（読み取り専用）

〔関連するアイテムの合計サイズ〕

パブリックフォルダー内の関連付けられたアイテムのサイズが表示されます。（読み取り専用）

〔削除済みアイテムの合計サイズ〕

パブリックフォルダー内の削除されたアイテムのサイズが表示されます。（読み取り専用）

〔所有者の数〕

パブリックフォルダーに指定されている所有者の数が表示されます。（読み取り専用）

〔連絡先の数〕

パブリックフォルダーに指定されている連絡先の数が表示されます。（読み取り専用）

〔最終更新日時〕

パブリックフォルダーに最後にアクセスした時間が表示されます。（読み取り専用）

2.1.3 制限

[制限] では以下の項目が表示されます。

パブリックフォルダー 1'

全般
統計
制限

ストレージクォータ:
 組織のクォータの既定値を使用する
パブリックフォルダーのクォータ制限値は、パブリックフォルダーメールボックスのクォータ制限値より大きくすることはできません。

*警告を表示する使用量 (MB)
unlimited

*投稿を禁止するサイズ (MB)
unlimited

*アイテムの最大サイズ (MB)
unlimited

削除済みアイテムの保持期間:
 組織のアイテム保持の既定値を使用する
*削除済みアイテムの保持期間 (日)
5
 このフォルダーとすべてのサブフォルダーに設定を適用する

保存期間:
 組織の保存期間の既定値を使用する
*フォルダーの内容の保存期間 (日)
5
 このフォルダーとすべてのサブフォルダーに設定を適用する

保存 キャンセル

■ ストレージクォータ

【組織のクォータの既定値を使用する】

組織のクォータ既定値を使用するには、このチェックボックスをオン（既定）にします。このチェックボックスをオフにすると以下の各項目が設定可能になります。

【警告を表示する使用量】

フォルダーのサイズが制限値に接近している旨の警告を所有者に発行するサイズを指定します。0～2096128MBの値を指定出来ます。（この設定は現時点（2014/7/30）では機能しません。）

【投稿を禁止するサイズ】

フォルダーのサイズが制限値に達したらフォルダーへの投稿を禁止するサイズを指定します。0～2096128MBの値を指定出来ます。

【アイテムの最大サイズ】

最大値は25MBで、それより大きな値を設定しても25MBで制限が掛かります。

■ 削除済みアイテムの保持期間

【組織のアイテム保持期間の既定値を使用する】

削除済みアイテムの保持期間に組織の既定値を使用するにはこのチェックボックスをオン（既定）にします。このチェックボックスをオフにすると以下の項目が利用可能になります。

【削除済みアイテムの保持期間】

削除済みアイテムの保持期間を指定します。0～24855日の値を指定出来ます。配下にサブフォルダーが有る場合は「このフォルダーとすべてのサブフォルダーに設定を適用する」のチェックボックスが表示されますが、このチェックをオンにするとエラーになります。（2017/4/1時点）

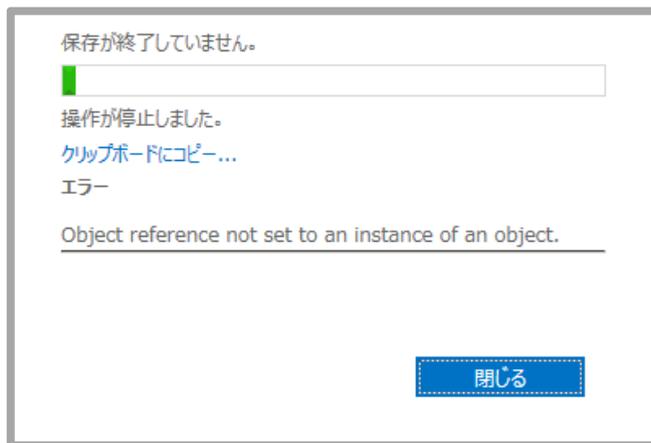
■ 保存期間

【組織の保存期間の既定を使用する】

アイテムの保存期間に組織の既定値を使用するにはこのチェックボックスをオン（既定）にします。このチェックボックスをオフにすると以下の項目が利用可能になります。

【フォルダー内容の保存期間】

アイテムの保存期間を指定します。0～24855日の値を指定出来ます。配下にサブフォルダーが有る場合は「Apply setting to this folder and all its subfolders」のチェックボックスが表示されますが、このチェックをオンにするとエラーになります。（2017/4/1時点）



2.1.4 全般的なメールプロパティ

【全般的なメールプロパティ】では以下の項目が表示されます。



[エイリアス]

エイリアスを変更することにより、既存のメールアドレス
(既定の返信アドレス：SMTPのエイリアス (@の前の部分))が変更されます。

[表示名]

表示名を変更することにより、アドレス一覧に表示される名前が変更されます。

[Exchangeアドレス一覧に表示しない]

このチェックボックスをオンにすると、アドレス一覧に表示されなくなります。既定ではメールを有効にしたすべてのパブリックフォルダーはアドレス一覧に表示されます。管理者用のパブリックフォルダーなど、アドレス帳に表示させる必要のないパブリックフォルダーを非表示にすることができます。アドレス一覧に非表示でも、メールを送受信することが可能です。

[カスタム属性]

動的配布グループのメンバーシップを決定する際のルールにカスタム属性を使用する場合に設定します。

▼カスタム属性の設定手順

- ① [カスタム属性] の編集アイコン [ (編集)] をクリックします。



- ② カスタム属性に任意の値を入力し [OK] をクリックします。



このスクリーンショットは「カスタム属性」の入力画面を示しています。画面の上部には「カスタム属性」というタイトルがあります。その下には、15個の番号付きの入力フィールドが縦に並んでいます。最初のフィールドには「sales」という値が入力されており、そのフィールドは赤い枠で囲まれています。画面の下部には「OK」と「キャンセル」のボタンがあります。

③ カスタム属性が設定されたことを確認します。

パブリックフォルダー - 1'

全般
統計
制限
▶ 一般的なメール プロパティ
メール アドレス
所属するグループ
配信オプション
メール フローの設定

*エイリアス
publicf1

*表示名
パブリックフォルダー - 1'

Exchange アドレス一覧に表示しない

カスタム属性:

番号	値
1	sales

保存 キャンセル

2.1.5 メールアドレス

[メールアドレス] では以下の項目が表示されます。

既存のメールアドレスの変更や削除、追加のメールアドレスを作成することができます。但し [既定の返信アドレス: SMTP] は変更・削除はできません。

パブリックフォルダー - 1'

全般
統計
制限
一般的なメール プロパティ
▶ メール アドレス
所属するグループ
配信オプション
メール フローの設定

各メールアドレスの種類には、既定の返信アドレスが 1 つあります。既定の返信アドレスは、太字で表示されます。既定の返信アドレスを変更するには、既定に設定するメールアドレスを選択し、ダブルクリックして編集してください。

メール アドレス:
+ ✎ -

種類	メールアドレス
SMTP	?????????1?@testcsc.onmi...

保存 キャンセル

▼メールアドレスの追加手順

① メールアドレスの [+ (追加)] アイコンをクリックします。

パブリックフォルダー 1'

全般
統計
制限
全般的なメール プロパティ

メール アドレス: **+** -

種類	メール アドレス
SMTP	?????????1?@testcsc.onmi...

メールが有効なパブリック フォルダに関連付けられているメール アドレスを追加、変更、または削除できます。パブリックフォルダのプライマリ メール アドレスは太字で表示されます。

保存 キャンセル

② [メールアドレスの種類] で [SMTP] を選択し [メールアドレス] を入力し [OK] をクリックします。

メールアドレスの新規作成

メールアドレスの種類:

SMTP

EUM

カスタムのアドレスの種類を入力します

アドレスには、EX、X.500、X.400、MSMail、CcMail、Lotus Notes、NovellGroupWise、EUM プロキシ アドレス、フリー テキストを使用できます。 [詳細情報](#)

メールアドレス: demo1@onmicrosoft.com x

OK キャンセル

③ メールアドレスが追加されていることを確認し [保存] をクリックします。

パブリックフォルダー 1'

全般
統計
制限
一般的なメール プロパティ
▶ メール アドレス
所属するグループ
配信オプション
メール フローの設定

各メール アドレスの種類には、既定の返信アドレスが 1 つあります。既定の返信アドレスは、太字で表示されます。既定の返信アドレスを変更するには、既定に設定するメール アドレスを選択し、ダブルクリックして編集してください。

メール アドレス:
+ ✎ -

種類	メール アドレス
smtp	demo1@onmicrosoft.com

メールが有効なパブリック フォルダーに関連付けられているメール アドレスを追加、変更、または削除できます。パブリック フォルダーのプライマリ メール アドレスは太字で表示されます。

保存 キャンセル

④ 保存が正常に完了したことを確認し [閉じる] をクリックします。

保存が正常に完了しました。

操作を完了しました。

閉じる

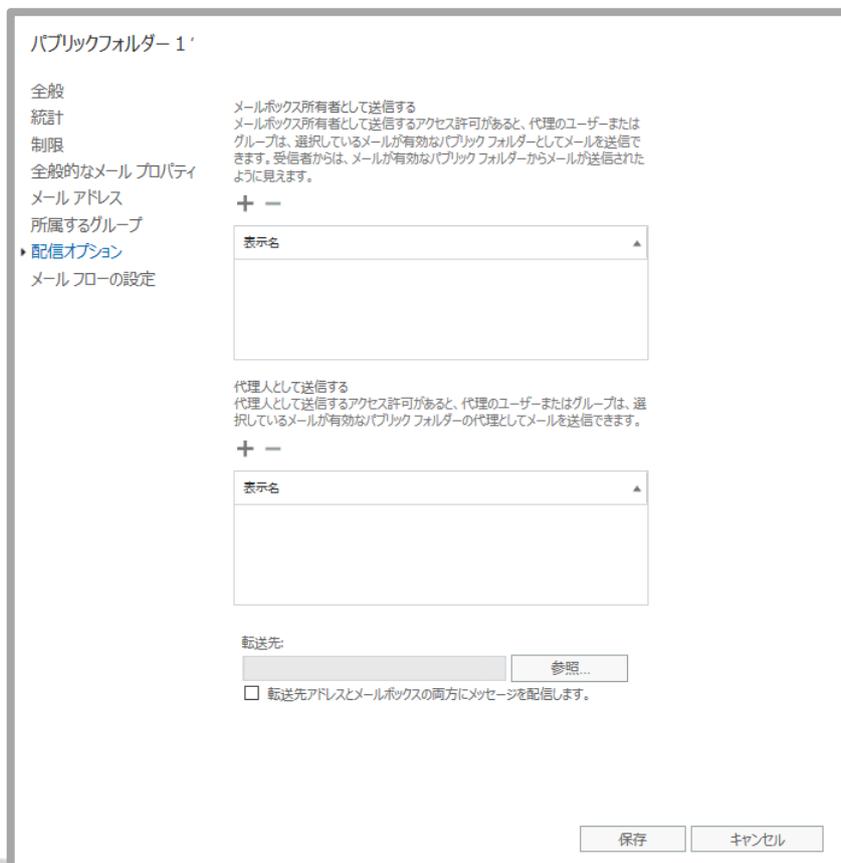
2.1.6 所属するグループ

[所属するグループ] には、そのフォルダーが所属するグループが表示されます。
(動的配布グループは表示されません)



2.1.7 配信オプション

[返信オプション] では以下の項目が表示されます。
メールが有効なパブリックフォルダーからメール送信する場合、別のユーザーがパブリックフォルダーになり代わって送信することができます。この機能は、例えば、パブリックフォルダに届いた問い合わせメールの返信を、実際に返信を行うユーザーからの返信ではなく、パブリックフォルダーから返信されたように見せたい場合などに有効です。



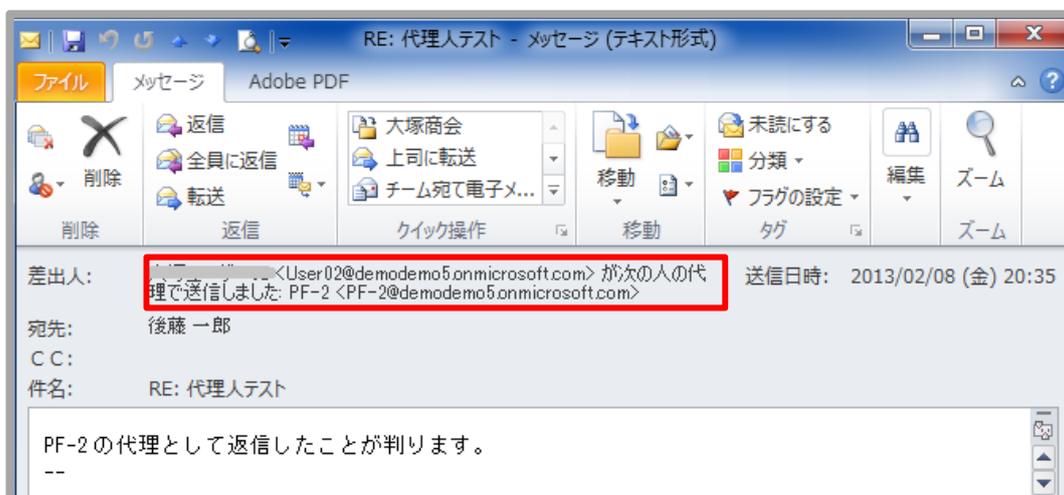
[差出人を指定して送信する]

このアクセス権を持つユーザーは、まるで自分がそのパブリックフォルダーメールボックスを所有しているかのように、パブリックフォルダーからメッセージを送信することができます。



[代理人として送信する]

このアクセス権を持つユーザーは、パブリックフォルダーになり代わってメールを送信することができます。このユーザーがメールを送信すると、メールの差出人には、“<他のユーザー>が次の人の代理で送信しました:<パブリックフォルダー名>”と表示され、代理で送信されたことが通知されます。



[転送先]

転送先を指定すると、フォルダ宛に送信されたメールが転送先に転送されます。

[転送先アドレスとメールボックスの両方にメッセージを配信します]

このチェックボックスをオンにすると、フォルダ宛に送信されたメールが、転送先とフォルダの両方に配信されます。(この機能は、現時点(2014/7/30)では機能しません。転送先에만配信され、フォルダには配信されません。)

以下のPowerShellコマンドで、両方に配信されるようになります。

```
Set-MailPublicFolder ¥PF-2 -DeliverToMailboxAndForward $True
```

▼ [差出人を指定して送信する]、[代理人として送信する] の設定手順

① 「+(追加)」アイコンをクリックします。

パブリックフォルダー 1'

全般
統計
制限
一般的なメール プロパティ
メール アドレス
所属するグループ
▶ 配信オプション
メール フローの設定

メールボックス所有者として送信する
メールボックス所有者として送信するアクセス許可があると、代理のユーザーまたはグループは、選択しているメールが有効なパブリックフォルダーとしてメールを送信できます。受信者からは、メールが有効なパブリックフォルダーからメールが送信されたように見えます。

+ -
表示名

代理人として送信する
代理人として送信するアクセス許可があると、代理のユーザーまたはグループは、選択しているメールが有効なパブリックフォルダーの代理としてメールを送信できます。

+ -
表示名

保存 キャンセル

② アクセス権を与えるユーザーを選択して「追加」をクリックします。複数のユーザーを指定する場合は人数分繰り返して[OK]をクリックします。

表示名 ▲ プライマリ メール アドレス

クラウド	cloud@testsc.onmicrosoft.com
デモユーザー 1	demo1@testsc.onmicrosoft.com
マネージャ	mgr@testsc.onmicrosoft.com
総務部	soumu@testsc.onmicrosoft.com

合計 4 件のうち 1 件を選択

追加 -> デモユーザー 1 [削除];

OK キャンセル

③ 指定したユーザーが登録されていることを確認し[保存]をクリックします。

パブリックフォルダー 1'

全般
統計
制限
一般的なメール プロパティ
メール アドレス
所属するグループ
▶ 配信オプション
メール フローの設定

メールボックス所有者として送信する
メールボックス所有者として送信するアクセス許可があると、代理のユーザーまたはグループは、選択しているメールが有効なパブリック フォルダとしてメールを送信できます。受信者からは、メールが有効なパブリック フォルダからメールが送信されたように見えます。

+ -

表示名
デモユーザー 1

代理人として送信する
代理人として送信するアクセス許可があると、代理のユーザーまたはグループは、選択しているメールが有効なパブリック フォルダの代理としてメールを送信できます。

+ -

表示名
クラウド
デモユーザー 1

保存 キャンセル

④ 保存が正常に完了したことを確認し[閉じる]をクリックします。

保存が正常に完了しました。

操作を完了しました。

閉じる

▼転送先の設定手順

① [転送先]の[参照]をクリックします。

パブリックフォルダー 1'

全般
統計
制限
全般的なメール プロパティ
メール アドレス
所属するグループ
▶ 配信オプション
メール フローの設定

表示名 ▲

代理人として送信する
代理人として送信するアクセス許可があると、代理のユーザーまたはグループは、選択しているメールが有効なパブリックフォルダーの代理としてメールを送信できます。

+ -

表示名 ▲

クラウド
デモユーザー 1

転送先:
 参照...

転送先アドレスとメールボックスの両方にメッセージを配信します。

保存 キャンセル

② 転送先のユーザーを選択して[OK]をクリックします。

表示名 ▲	エイリアス	受信者の種類	プライマリメールアドレス
クラウド	cloud	UserMailbox	cloud@testcsc.onmicrosoft...
デモユーザー	demo1	UserMailbox	demo1@testcsc.onmicrosoft...
マネージャー	mgr	UserMailbox	mgr@testcsc.onmicrosoft...

OK キャンセル

- ③ 必要に応じて[転送先アドレスとメールボックスの両方にメッセージを配信します] チェックボックスをオンにして[保存]をクリックします。

転送先:
マネージャー X 参照...

転送先アドレスとメールボックスの両方にメッセージを配信します。

このオプションを選んだ場合、転送先アドレスと、メールが有効なパブリック フォルダーの両方にメールが配信されます。

保存 キャンセル

- ④ 保存が正常に完了したことを確認し[閉じる]をクリックします。

保存が正常に完了しました。

操作を完了しました。

閉じる

[転送先アドレスとメールボックスの両方にメッセージを配信します]

このチェックボックスをオンにすると、フォルダ宛に送信されたメールが、転送先とフォルダの両方に配信されます。(この機能は、現時点(2014/7/30)では機能しません。転送先にのみ配信され、フォルダには配信されません。)

以下のPowerShellコマンドで、両方に配信されるようになります。

```
Set-MailPublicFolder ¥PF-2 -DeliverToMailboxAndForward $True
```

2.1.8 メールフローの設定

[メールフローの設定]では以下の項目が表示されます。

パブリックフォルダー 1

全般
統計
制限
一般的なメール プロパティ
メール アドレス
所属するグループ
配信オプション
メール フローの設定

メッセージのサイズ制限

送信メッセージの最大サイズ (MB)

受信メッセージの最大サイズ (MB)

メッセージの配信制限

受信を許可する送信者:

すべての送信者

次の一覧の送信者のみ

+ -

表示名

すべての送信者に認証を要求する

受信を拒否する送信者:

拒否する送信者なし

次の一覧の送信者のみ

+ -

保存 キャンセル

■メッセージのサイズ制限

[送信メッセージの最大サイズ]

このチェックボックスをオンにすると、フォルダーからメール送信する際の最大サイズ制限を指定出来ます。表示は「MB」になっていますが、実際には「KB」で指定します。(2014/7/30時点)

[受信メッセージの最大サイズ]

このチェックボックスをオンにすると、メールによるフォルダーへの投稿アイテムの最大サイズ制限を指定出来ます。Outlookから直接フォルダに投稿する際は、この制限は及びません。表示は「MB」になっていますが、実際には「KB」で指定します。(2014/7/30時点)

■メッセージの配信制限

[受信を許可する送信者]

特定のユーザーからのメールだけ受信を許可したい場合は「次の一覧の送信者のみ」を選択して対象のユーザーを追加します。Outlookから直接フォルダに投稿する際は、この制限は及びません。

[すべての送信者に認証を要求する]

このチェックボックスをオンにすると、匿名ユーザー(組織内にアカウントを持たない組織外ユーザー)からのメール送信を拒否します。組織外ユーザーは、前項の「受信を許可する送信者」で明示的に指定されていてもメール受信を拒否されます。

[受信を拒否する送信者]

特定のユーザーからのメール受信を拒否したい場合は「次の一覧の送信者のみ」を選択して対象のユーザーを追加します。

<制限パターンによる設定例>

制限パターン	メッセージの配信制限		
	受信を許可する送信者	すべての送信者に認証を要求する	受信者を拒否する送信者
	すべての送信者		すべての送信者
	次の一覧の送信者のみ		次の一覧の送信者のみ
	一覧		一覧
組織内・外すべてのユーザーからの受信を許可	●	□	●
	○		○
	--		--
組織内・外の特定のユーザーからの受信を許可	○	□	●
	●		○
	許可するユーザー		--
組織内・外の特定のユーザーからの受信を拒否	●	□	○
	○		●
	--		拒否するユーザー
組織外のユーザーを拒否・組織内のユーザーはすべて許可	●	■	●
	○		○
	--		--
組織外のユーザーを拒否・組織内の特定のユーザーを拒否	●	■	○
	○		●
	--		拒否するユーザー
組織外のユーザーを拒否・組織内の特定のユーザーを許可	○	■	●
	●		○
	拒否するユーザー		--

3. Power Shellによるパブリックフォルダーの操作

この章では、Power Shellによるパブリックフォルダーの操作手順について説明します。

■ 3.1 Power Shellによるパブリックフォルダーの操作（1章相当）

Office 365 Small Business PremiumのExchange Onlineには、パブリックフォルダーの管理画面インターフェースが提供されていません。

パブリックフォルダーに関する設定は、PowerShellを使って実施します。

3.1.1 パブリックフォルダーメールボックスの作成

パブリックフォルダー用のメールボックスを作成するには、以下のコマンドを実行します。

```
New-Mailbox -PublicFolder -Name <パブリックフォルダーメールボックス名>
```

```
PS C:\> New-Mailbox -PublicFolder -Name 1st-PF-MBX
```

Name	Alias	ServerName	ProhibitSendQuota
1st-PF-MBX	1st-PF-MBX	sinpr02mb010	24.75 GB (26,575,110,144 bytes)

3.1.2 パブリックフォルダーの作成

最上位のパブリックフォルダーを作成するには、以下のコマンドを実行します。

```
New-PublicFolder <パブリックフォルダー名>
```

```
PS C:\> New-PublicFolder PF-1
```

Name	Parent Path
PF-1	¥

あるパブリックフォルダーのサブフォルダーを作成するには、以下のコマンドを実行します。

```
New-PublicFolder <パブリックフォルダー名> -Path <上位のパブリックフォルダーパス>
```

```
PS C:\> New-PublicFolder PF-1-1 -Path ¥PF-1
```

Name	Parent Path
PF-1-1	¥PF-1

注意



パブリックフォルダーのパスは、最上位の直下に作成した場合「¥パブリックフォルダー名」となります。例えば「PF-1」というパブリックフォルダーを最上位の直下に作成した場合「¥PF-1」となります。二階層目に「PF-1-1」という名前で作成した場合、そのフォルダーのパスは「¥PF-1¥PF-1-1」となります。

作成したパブリックフォルダーの一覧を表示するには、以下のコマンドを実行します。

Get-PublicFolder -Recurse

```
PS C:\> Get-PublicFolder -Recurse

Name                               Parent Path
----                               -
IPM_SUBTREE                        ¥
PF-1                                ¥
PF-1-1                              ¥PF-1
```

3.1.3 パブリックフォルダーのアクセス権設定

パブリックフォルダーにアクセス権を設定するには、以下のコマンドを実行します。

Add-PublicFolderClientPermission <パブリックフォルダーパス> -User <アクセス許可を与えるユーザー名> -AccessRights <アクセス許可レベル>

```
PS C:\> Add-PublicFolderClientPermission ¥PF-1 -User admin -AccessRights Owner

FolderName      User      AccessRights
-----
PF-1            管理者   [Owner]
```

▼アクセス許可レベルは以下の英字にて指定します

アクセス許可レベル	
所有者	Owner
発行編集者	PublishingEditor
編集者	Editor
発行作成者	PublishingAuthor
作成者	Author
非編集作成者	NonEditingAuthor
参照者	Reviewer
寄稿者	Contributor
なし	None

あるユーザーに与えたアクセス権を削除するには、以下のコマンドを実行します。

```
Remove-PublicFolderClientPermission <パブリックフォルダーパス> -User  
<アクセス許可を削除するユーザー名>
```

削除の確認には「y」で応答します。

```
PS C:\> Remove-PublicFolderClientPermission %pf-2 -User naoki  
  
Confirm  
Are you sure you want to perform this action?  
ユーザー "佐藤 直樹" の "%pf-2" に対するメールボックス フォルダー  
アクセス許可を削除しています。  
[Y] Yes [A] Yes to All [N] No [L] No to All [?] ヘルプ (既定値は "Y"): y  
PS C:\> _
```

3.1.4 メールの有効化・無効化

メールを有効化するには、以下のコマンドを実行します。

```
Enable-MailPublicFolder <パブリックフォルダーパス>
```

メールを有効化することで設定されたメールアドレスを確認するには、以下のコマンドを実行します。

```
Get-MailPublicFolder <パブリックフォルダーパス> | FL EmailAddresses
```

メールを無効化するには、以下のコマンドを実行します。

```
Disable-MailPublicFolder <パブリックフォルダーパス>
```

無効の確認には「y」で応答します。

```
PS C:\> Disable-MailPublicFolder %PF-1%PF-1-1  
  
Confirm  
Are you sure you want to perform this action?  
メールが有効なパブリック フォルダー "%PF-1%PF-1-1" を無効にしています。  
[Y] Yes [A] Yes to All [N] No [L] No to All [?] ヘルプ (既定値は "Y"): y  
PS C:\>  
PS C:\> Get-MailPublicFolder %PF-1%PF-1-1 | fl EmailAddresses  
パブリック フォルダー '%PF-1%PF-1-1' はメールが有効ではありません。  
+ CategoryInfo          : NotSpecified: (:) [Get-MailPublicFolder], ManagementObj  
ectNotFoundException  
+ FullyQualifiedErrorId : 6464A4A3,Microsoft.Exchange.Management.MapiTasks.GetMai  
IPublicFolder
```

■ 3.2 PowerShellによるパブリックフォルダーの操作(2章に相当)

Office 365 Small Business PremiumのExchange Onlineには、パブリックフォルダーの管理画面インターフェースが提供されていません。

パブリックフォルダーに関する設定は、PowerShellを使って実施します。

3.2.1 全般

[名前の変更と確認]

パブリックフォルダーの名前を変更するには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-PublicFolder <パブリックフォルダーのパス> -Name <新しい名前>
```

名前が変更されたことを確認するには、以下のコマンドを実行します。

```
Get-PublicFolder <パブリックフォルダーのパス>
```

```
PS C:\> Set-PublicFolder ¥PF-1 -Name PF-One
PS C:\>
PS C:\> Get-PublicFolder ¥PF-One

Name                Parent Path
----                -
PF-One              ¥
```

[既読・未読情報保持の有効化と確認]

パブリックフォルダーの既読・未読情報保持を有効化するには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-PublicFolder <パブリックフォルダーのパス> -PerUserReadStateEnabled $True
```

パブリックフォルダーの既読・未読情報保持が有効化されたことを確認するには、以下のコマンドを実行します。

```
Get-PublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | FL -PerUserReadStateEnabled
```

```
PS C:\> Set-PublicFolder ¥PF-1 -PerUserReadStateEnabled $True
PS C:\>
PS C:\> Get-PublicFolder ¥PF-1 | FL PerUserReadStateEnabled

PerUserReadStateEnabled : True
```

[既読・未読情報保持の無効化と確認]

パブリックフォルダーの既読・未読情報保持を無効化するには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-PublicFolder <パブリックフォルダーのパス> -PerUserReadStateEnabled$False
```

パブリックフォルダーの既読・未読情報保持が無効化されたことを確認するには、以下のコマンドを実行します。

```
Get-PublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | FL -PerUserReadStateEnabled
```

```
PS C:¥> Set-PublicFolder ¥PF-1 -PerUserReadStateEnabled $False
PS C:¥>
PS C:¥> Get-PublicFolder ¥PF-1 | FL PerUserReadStateEnabled

PerUserReadStateEnabled : False
```

[その他情報の表示]

その他の情報を表示するには、以下のコマンドを実行します。

```
Get-PublicFolderStatistics <パブリックフォルダーのパス> | FL
```

```
PS C:¥> Get-PublicFolderStatistics ¥PF-1 | FL

RunspaceId           : 287b8622-6d61-4882-b706-3cb8c73b90d3
AssociatedItemCount   : 0
ContactCount         : 1
CreationTime         : 2013/02/06 7:15:33
DeletedItemCount     : 0
EntryId              : 000000008FB236BEE3BBF041A43598C7BF33CDD0100ACAE0A01CF47
                    : 95DC75A9E2CFB8EB0000000000110000
FolderPath           : [PF-1]
ItemCount            : 20
LastModificationTime : 2013/02/21 1:32:53
Name                 : PF-1
OwnerCount           : 1
TotalAssociatedItemSize : 0 B (0 bytes)
TotalDeletedItemSize  : 0 B (0 bytes)
TotalItemSize        : 10.24 MB (10,739,359 bytes)
MailboxOwnerId       : 1st-PF-MBX
Identity             : 1st-PF-MBX
IsValid              : True
ObjectState          : New
```

3.2.2 統計

統計情報を表示するには、以下のコマンドを実行します。

Get-PublicFolderStatistics <パブリックフォルダーのパス> | FL

```
PS C:\> Get-PublicFolderStatistics ¥PF-1 | FL
RunspaceId      : 287b8622-6d61-4882-b706-3cb8c73b90d3
AssociatedItemCount : 0
ContactCount    : 1
CreationTime    : 2013/02/06 7:15:33
DeletedItemCount : 0
EntryId         : 000000008FB236BEE3BBF041A43598C7BF33CDD0100ACAE0ADEA01CF47
                 95DC75A9E2CFB8EB000000000110000
FolderPath      : [PF-1]
ItemCount       : 20
LastModificationTime : 2013/02/21 1:32:53
Name            : PF-1
OwnerCount      : 1
TotalAssociatedItemSize : 0 B (0 bytes)
TotalDeletedItemSize  : 0 B (0 bytes)
TotalItemSize    : 10.24 MB (10,739,359 bytes)
MailboxOwnerId   : 1st-PF-MBX
Identity        : 1st-PF-MBX
IsValid         : True
ObjectState     : New
```

3.2.3 制限

[ストレージクォータ]

組織の既定値を使わない場合、以下のコマンドを実行します。

Set-PublicFolder <パブリックフォルダーのパス> -IssueWarningQuota<警告を表示する使用量> -ProhibitPostQuota<投稿を禁止するサイズ> -MaxItemSize<アイテムの最大サイズ>

※サイズはbytesで指定します。(2014/7/30現在)

設定が変更されたことを確認するには、以下のコマンドを実行します。

Set-PublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | FL

```
PS C:\> Set-PublicFolder ¥pf-1 -IssueWarningQuota 10MB -ProhibitPostQuota 20MB -MaxItemSize 2MB
PS C:\>
PS C:\> Get-PublicFolder ¥PF-1 | FL

RunspaceId          : 6f707281-f902-4fd1-a50c-1b3b5da43899
Identity            : ¥PF-1
Name                : PF-1
MailEnabled         : True
MailRecipientGuid   : 47480c19-48a4-44e2-8c02-05ce808363de
ParentPath          : ¥
ContentMailboxName  : 1st-PF-MBX
ContentMailboxGuid  : 5f0b31e1-a658-4a17-b759-2164bacabfd6
EformsLocaleId     :
PerUserReadStateEnabled : False
EntryId             : 000000008FB236BEE3BBF041A43598C7BF33CDCD0100ACAE0ADEA01CF4795DC75A9E2CFBBEB0000000000110000
DumpsterEntryId     : 000000008FB236BEE3BBF041A43598C7BF33CDCD0100ACAE0ADEA01CF4795DC75A9E2CFBBEB0000000000120000
ParentFolder        : 000000008FB236BEE3BBF041A43598C7BF33CDCD0100ACAE0ADEA01CF4795DC75A9E2CFBBEB000000000020000
OrganizationId      : APCPR02A001.prod.outlook.com/Microsoft Exchange Hosted Organizations/otsnew01.onmicrosoft.com - APCPR02A001.prod.outlook.com/ConfigurationUnits/otsnew01.onmicrosoft.com/Configuration
AgeLimit            :
RetainDeletedItemsFor :
ProhibitPostQuota   : 20 MB (20,971,520 bytes)
IssueWarningQuota   : 10 MB (10,485,760 bytes)
MaxItemSize         : 2 MB (2,097,152 bytes)
LastMovedTime       :
```

組織の既定値を使うには、以下のコマンドを実行します。

Set-PublicFolder <パブリックフォルダーのパス> -IssueWarningQuotaUnlimited-ProhibitPostQuotaUnlimited-MaxItemSizeUnlimited

[削除済みアイテムの保持期間の変更]

削除済みアイテムの保持期間を変更するには、以下のコマンドを実行します。

Set-PublicFolder <パブリックフォルダーのパス> -RetainDeletedItemsFor <日数>

変更結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

Get-PublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | FT Name,RetainDeletedItemsFor

```
PS C:\> Set-PublicFolder ¥PF-2 -RetainDeletedItemsFor 20
PS C:\>
PS C:\> Get-PublicFolder ¥PF-2 | FT Name,RetainDeletedItemsFor

Name                               RetainDeletedItemsFor
----                               -
PF-2                               20.00:00:00
```

[削除済みアイテムの保持期間を組織の既定値に戻す]

削除済みアイテムの保持期間を組織の既定値に戻すには、以下のコマンドを実行します。

Set-PublicFolder <パブリックフォルダーのパス> -RetainDeletedItemsFor \$null

変更結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

Get-PublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | FT Name,RetainDeletedItemsFor

```
PS C:\> Set-PublicFolder ¥PF-2 -RetainDeletedItemsFor $null
PS C:\>
PS C:\> Get-PublicFolder ¥PF-2 | FT Name,RetainDeletedItemsFor

Name                               RetainDeletedItemsFor
----                               -
PF-2
```

[保存期間の変更]

保存期間を変更するには、以下のコマンドを実行します。

Set-PublicFolder <パブリックフォルダーのパス> -AgeLimit <日数>

変更結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

Get-PublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | FT Name,AgeLimit

```
PS C:\> Set-PublicFolder ¥PF-2 -AgeLimit 120
PS C:\>
PS C:\> Get-PublicFolder ¥PF-2 | FT Name,AgeLimit

Name                               AgeLimit
----                               -
PF-2                               120.00:00:00
```

[保存期間の変更]

保存期間を変更するには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-PublicFolder <パブリックフォルダーのパス>-AgeLimit <日数>
```

変更結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

```
Get-PublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | FT Name, AgeLimit
```

```
PS C:¥> Set-PublicFolder ¥PF-2 -AgeLimit 120
PS C:¥>
PS C:¥> Get-PublicFolder ¥PF-2 | FT Name, AgeLimit

Name                AgeLimit
----                -
PF-2                120.00:00:00
```

[保存期間を組織の既定値に戻す]

保存期間を組織の既定値に戻すには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-PublicFolder <パブリックフォルダーのパス>-AgeLimit $null
```

変更結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

```
Get-PublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | FT Name, AgeLimit
```

```
PS C:¥> Set-PublicFolder ¥PF-2 -AgeLimit $null
PS C:¥>
PS C:¥> Get-PublicFolder ¥PF-2 | FT Name, AgeLimit

Name                AgeLimit
----                -
PF-2
```

3.2.4 全般的なメールプロパティ

[エイリアスの変更]

エイリアスを変更するには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> -Alias <新しいエイリアス>
```

変更結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

```
Get-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | Select Name, Alias
```

```
PS C:\> Set-MailPublicFolder ¥PF-2 -Alias PF-Two
PS C:\>
PS C:\> Get-MailPublicFolder ¥PF-2 | Select Name, Alias

Name                Alias
----                -
PF-2                PF-Two
```

[表示名の変更]

表示名を変更するには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> -DisplayName <新しい表示名>
```

変更結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | Select Name, DisplayName
```

```
PS C:\> Set-MailPublicFolder ¥PF-2 -DisplayName KanriG
PS C:\>
PS C:\> Get-MailPublicFolder ¥PF-2 | Select Name, DisplayName

Name                DisplayName
----                -
PF-2                KanriG
```

[アドレス一覧に表示しない]

アドレス一覧に表示しないようにするには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> -HiddenFromAddressListsEnabled $True
```

変更結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

```
Get-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | FL -HiddenFromAddressListsEnabled
```

```
PS C:\> Set-MailPublicFolder ¥PF-1 -HiddenFromAddressListsEnabled $True
PS C:\>
PS C:\> Get-MailPublicFolder ¥PF-1 | fl HiddenFromAddressListsEnabled

HiddenFromAddressListsEnabled : True
```

[アドレス一覧に表示する]

アドレス一覧に表示するには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> -HiddenFromAddressListsEnabled $False
```

変更結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

```
Get-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | FL -HiddenFromAddressListsEnabled
```

```
PS C:\> Set-MailPublicFolder ¥PF-1 -HiddenFromAddressListsEnabled $False
PS C:\>
PS C:\> Get-MailPublicFolder ¥PF-1 | fl HiddenFromAddressListsEnabled

HiddenFromAddressListsEnabled : False
```

[カスタム属性]

カスタム属性を設定するには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> -CustomAttributeX<属性値>
```

Xは1～15になります。

変更結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | Select Name,CustomAttributeX
```

```
PS C:\> Set-MailPublicFolder ¥PF-2 -CustomAttribute1 KanriG
PS C:\>
PS C:\> Get-MailPublicFolder ¥PF-2 | Select Name,CustomAttribute1

Name                               CustomAttribute1
----                               -
PF-2                               KanriG
```

3.2.5 メールアドレス

[追加]

メールアドレスを追加するには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス>-EmailAddresses  
@{Add="追加するメールアドレス"}
```

変更結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

```
Get-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | FL Name,EmailAddresses
```

```
PS C:\> Set-MailPublicFolder ¥PF-2 -EmailAddresses @{Add="Kanri@otsnew01.onmicrosoft.com"}
PS C:\>
PS C:\> Get-MailPublicFolder ¥PF-2 | FL Name,EmailAddresses

Name          : PF-2
EmailAddresses : [smtp:Kanri@otsnew01.onmicrosoft.com, SMTP:PF-Two@otsnew01.onmicrosoft.com, smtp:PF-2@otsnew01.onmicrosoft.com]
```

[削除]

メールアドレスを削除するには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス>-EmailAddresses @{Remove="削除するメールアドレス"}
```

変更結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

```
Get-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | FL Name,EmailAddresses
```

```
PS C:\> Set-MailPublicFolder ¥PF-2 -EmailAddresses @{Remove="Kanri@otsnew01.onmicrosoft.com"}
PS C:\>
PS C:\> Get-MailPublicFolder ¥PF-2 | FL Name,EmailAddresses

Name          : PF-2
EmailAddresses : [SMTP:PF-Two@otsnew01.onmicrosoft.com, smtp:PF-2@otsnew01.onmicrosoft.com]
```

3.2.6 所属するグループ

※該当するコマンドなし

3.2.7 配信オプション

[メールボックス所有者として送信する(SendAs)ユーザーを追加]

メールボックス所有者として送信できるユーザーを追加するには、以下のコマンドを実行します。

```
Add-RecipientPermission-identity <パブリックフォルダ名>-AccessRights SendAs  
-Trustee<権利を追加するユーザー名>
```

削除の確認には「y」で応答します。

```
PS C:\> Add-RecipientPermission -Identity PF-1 -AccessRights SendAs -Trustee naoki  
  
Confirm  
Are you sure you want to perform this action?  
受信者 'PF-1' のユーザーまたはグループ 'naoki' に対する受信者アクセス許可 'SendAs'  
を追加しています。  
[Y] Yes [A] Yes to All [N] No [L] No to All [?] ヘルプ (既定値は "Y"): y  
  
Identity Trustee AccessControlType AccessRights Inheritance  
-----  
PF-1 naoki Allow [SendAs] False
```

追加の結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

```
Get-RecipientPermission -Trustee<権利を追加したユーザー名>
```

```
PS C:\> Get-RecipientPermission -Trustee naoki  
  
Identity Trustee AccessControlType AccessRights Inheritance  
-----  
PF-1 naoki Allow [SendAs] False
```

[メールボックス所有者として送信する(SendAs)ユーザーを削除]

メールボックス所有者として送信できるユーザーを削除するには、以下のコマンドを実行します。

```
Remove-RecipientPermission <パブリックフォルダーのパス> -AccessRights SendAs  
-Trustee<権利を削除するユーザー名>
```

削除の確認には「y」で応答します。

```
PS C:\> Remove-RecipientPermission -Identity PF-1 -AccessRights SendAs -Trustee naoki  
  
Confirm  
Are you sure you want to perform this action?  
受信者 'PF-1' からユーザーまたはグループ 'naoki' の受信者アクセス許可 'SendAs' を削除しています。  
[Y] Yes [A] Yes to All [N] No [L] No to All [?] ヘルプ (既定値は "Y"): y  
PS C:\>
```

削除の結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

Get-RecipientPermission-Trustee<権利を削除したユーザー名>

```
PS C:\> Get-RecipientPermission -Trustee naoki
PS C:\>
```

[メールボックス所有者として送信する(SendAs)ユーザーを削除]

メールボックス所有者として送信できるユーザーを削除するには、以下のコマンドを実行します。

Remove-RecipientPermission <パブリックフォルダーのパス> -AccessRights SendAs
-Trustee<権利を削除するユーザー名>

削除の確認には「y」で応答します。

```
PS C:\> Remove-RecipientPermission -Identity PF-1 -AccessRights SendAs -Trustee naoki
Confirm
Are you sure you want to perform this action?
受信者 'PF-1' からユーザーまたはグループ 'naoki' の受信者アクセス許可 'SendAs' を削除しています。
[Y] Yes [A] Yes to All [N] No [L] No to All [?] ヘルプ (既定値は "Y"): y
PS C:\>
```

削除の結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

Get-RecipientPermission-Trustee<権利を削除したユーザー名>

```
PS C:\> Get-RecipientPermission -Trustee naoki
PS C:\>
```

[代理人として送信する(SendOnBehalfTo)ユーザーを追加]

代理人として送信できるユーザーを追加するには、以下のコマンドを実行します。

Set-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> -GrantSendOnBehalfTo
@{Add="追加するユーザー名"}

```
PS C:\> Set-MailPublicFolder ¥PF-1 -GrantSendOnBehalfTo @{Add="naoki"}
PS C:\>
```

追加の結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

Get-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | FL *Grant*

```
PS C:\> Get-MailPublicFolder ¥PF-1 | fl *Grant*

GrantSendOnBehalfTo : [APCPR02A001.prod.outlook.com/Microsoft Exchange Hosted Organiza
tions/otsnew01.onmicrosoft.com/naoki, APCPR02A001.prod.outlook.c
om/Microsoft Exchange Hosted Organizations/otsnew01.onmicrosoft.
com/admin]
```

[代理人として送信する(SendOnBehalfTo)ユーザーを削除]

代理人として送信できるユーザーを削除するには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> -GrantSendOnBehalfTo  
@{Remove="削除するユーザー名"}
```

```
PS C:¥> Set-MailPublicFolder ¥PF-1 -GrantSendOnBehalfTo @{Remove="naoki@otsnew01.onmicr  
osoft.com"}  
PS C:¥>
```

削除の結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

```
Get-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | FL *Grant*
```

```
PS C:¥> Get-MailPublicFolder ¥PF-1 | fl *Grant*  
  
GrantSendOnBehalfTo : {APCPR02A001.prod.outlook.com/Microsoft Exchange Hosted Organiza  
tions/otsnew01.onmicrosoft.com/admin}
```

[転送設定]

パブリックフォルダー宛のメールを転送するようにするには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> -ForwardingAddress <転送先  
ユーザー名> -DeliverToMailboxAndForward $True
```

※パブリックフォルダーにも配信を行う場合は、「-DeliverToMailboxAndForward \$True」を使用します。

設定の結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

```
Get-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | FL  
Name,ForwardingAddress,DeliverToMailboxAndForward
```

```
PS C:¥> Set-MailPublicFolder ¥PF-2 -ForwardingAddress naoki -DeliverToMailboxAndForward  
$True  
PS C:¥>  
PS C:¥> Get-MailPublicFolder ¥PF-2 | FL Name,ForwardingAddress,DeliverToMailboxAndForwa  
rd  
  
Name : PF-2  
ForwardingAddress : naoki  
DeliverToMailboxAndForward : True
```

[転送の解除]

パブリックフォルダー宛のメールの転送を解除するには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> -ForwardingAddress $null-  
DeliverToMailboxAndForward $False
```

解除の結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | FL  
Name,ForwardingAddress,DeliverToMailboxAndForward
```

```
PS C:¥> Set-MailPublicFolder ¥PF-2 -ForwardingAddress $null -DeliverToMailboxAndForward  
$False  
PS C:¥>  
PS C:¥> Get-MailPublicFolder ¥PF-2 | FL Name,ForwardingAddress,DeliverToMailboxAndForwa  
rd  
  
Name                : PF-2  
ForwardingAddress   :  
DeliverToMailboxAndForward : False
```

3.2.8 メールフローの設定

[送信メッセージの最大サイズ変更]

送信メッセージの最大サイズを変更するには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> -MaxSendSize<最大サイズ>
```

※サイズはbytesで指定します。(2014/7/30現在)

変更結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

```
Get-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | Select Name,MaxSendSize
```

```
PS C:¥> Set-MailPublicFolder ¥PF-2 -MaxSendSize 10MB  
PS C:¥>  
PS C:¥> Get-MailPublicFolder ¥PF-2 | Select Name,MaxSendSize  
  
Name                MaxSendSize  
----                -  
PF-2                10 MB (10,485,760 bytes)
```

[送信メッセージの最大サイズを組織の既定値に戻す]

送信メッセージの最大サイズを組織の既定値に戻すには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> -MaxSendSize$null
```

変更結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

```
Get-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | Select Name,MaxSendSize
```

```
PS C:¥> Set-MailPublicFolder ¥PF-2 -MaxSendSize Unlimited
PS C:¥>
PS C:¥> Get-MailPublicFolder ¥PF-2 | Select Name,MaxSendSize
```

Name	MaxSendSize
----	-----
PF-2	Unlimited

[受信メッセージの最大サイズ変更]

受信メッセージの最大サイズを変更するには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> -MaxReceiveSize<最大サイズ>
```

※サイズはbytesで指定します。(2014/7/30現在)

変更結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

```
Get-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | Select Name,MaxReceiveSize
```

```
PS C:¥> Set-MailPublicFolder ¥PF-2 -MaxReceiveSize 15MB
PS C:¥>
PS C:¥> Get-MailPublicFolder ¥PF-2 | Select Name,MaxReceiveSize
```

Name	MaxReceiveSize
----	-----
PF-2	15 MB (15,728,640 bytes)

[受信メッセージの最大サイズを組織の既定値に戻す]

受信メッセージの最大サイズを組織の既定値に戻すには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> -MaxReceiveSize$null
```

変更結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

Get-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | Select Name,MaxReceiveSize

```
PS C:¥> Set-MailPublicFolder ¥PF-2 -MaxReceiveSize Unlimited
PS C:¥>
PS C:¥> Get-MailPublicFolder ¥PF-2 | Select Name,MaxReceiveSize

Name                               MaxReceiveSize
----                               -
PF-2                               Unlimited
```

[受信を許可する送信者の追加]

受信を許可する送信者を追加するには、以下のコマンドを実行します。

Set-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス>-
AcceptMessagesOnlyFrom@{Add="追加するユーザー名"}

追加の結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

Get-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | FL
Name,AcceptMessagesOnlyFrom

```
PS C:¥> Set-MailPublicFolder ¥PF-2 -AcceptMessagesOnlyFrom @{"Add":"naoki"}
PS C:¥>
PS C:¥> Get-MailPublicFolder ¥PF-2 | FL Name,AcceptMessagesOnlyFrom

Name                               : PF-2
AcceptMessagesOnlyFrom           : [APCPR02A001.prod.outlook.com/Microsoft Exchange Hosted Organ
                                izations/otsnew01.onmicrosoft.com/naoki]
```

[受信を許可する送信者の削除]

受信を許可する送信者を削除するには、以下のコマンドを実行します。

Set-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス>-
AcceptMessagesOnlyFrom@{Remove="削除するユーザー名"}

削除の結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

Get-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | FL
Name,AcceptMessagesOnlyFrom

```
PS C:¥> Set-MailPublicFolder ¥PF-2 -AcceptMessagesOnlyFrom @{"Remove":"naoki"}
PS C:¥>
PS C:¥> Get-MailPublicFolder ¥PF-2 | FL Name,AcceptMessagesOnlyFrom

Name                               : PF-2
AcceptMessagesOnlyFrom           : []
```

[すべての送信者に認証を要求する]

すべての送信者に認証を要求するには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス>RequireSenderAuthenticationEnabled$True
```

変更結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | FL Name,RequireSenderAuthenticationEnabled
```

```
PS C:\> Set-MailPublicFolder ¥PF-2 -RequireSenderAuthenticationEnabled $True
PS C:\>
PS C:\> Get-MailPublicFolder ¥PF-2 | FL Name,RequireSenderAuthenticationEnabled

Name                : PF-2
RequireSenderAuthenticationEnabled : True
```

[すべての送信者に認証を要求を解除]

すべての送信者への認証要求を解除するには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> -RequireSenderAuthenticationEnabled$False
```

変更結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

```
Get-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | FL Name,RequireSenderAuthenticationEnabled
```

```
PS C:\> Set-MailPublicFolder ¥PF-2 -RequireSenderAuthenticationEnabled $False
PS C:\>
PS C:\> Get-MailPublicFolder ¥PF-2 | FL Name,RequireSenderAuthenticationEnabled

Name                : PF-2
RequireSenderAuthenticationEnabled : False
```

[受信を拒否する送信者の追加]

受信を拒否する送信者を追加するには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス>-RejectMessagesFrom@{Remove=" 削除するユーザー名" }
```

追加の結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

```
Get-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | FL Name,RejectMessagesFrom
```

```
PS C:\> Set-MailPublicFolder ¥PF-2 -RejectMessagesFrom @[Add="naoki"]
PS C:\>
PS C:\> Get-MailPublicFolder ¥PF-2 | FL Name,RejectMessagesFrom

Name                : PF-2
RejectMessagesFrom : [APCPR02A001.prod.outlook.com/Microsoft Exchange Hosted Organizations/otsnew01.onmicrosoft.com/naoki]
```

[受信を拒否する送信者の削除]

受信を拒否する送信者を削除するには、以下のコマンドを実行します。

```
Set-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス>-RejectMessagesFrom@{Add=" 追加するユーザー名" }
```

削除の結果を確認するには、以下のコマンドを実行します。

```
Get-MailPublicFolder <パブリックフォルダーのパス> | FL Name,RejectMessagesFrom
```

```
PS C:\> Set-MailPublicFolder ¥PF-2 -RejectMessagesFrom @[Remove="naoki"]
PS C:\>
PS C:\> Get-MailPublicFolder ¥PF-2 | FL Name,RejectMessagesFrom

Name                : PF-2
RejectMessagesFrom : []
```

4. その他

パブリックフォルダーに関連する、その他の機能について説明します。

■ 4.1 使用状況レポート

管理者は、リモートPowerShellを使用して、組織内の各パブリックフォルダーのExchange Online サービス使用状況に関する情報を取得できます。取得可能な情報は、以下のとおりです。

- ・ 組織内のパブリックフォルダーごとのサイズの表示
- ・ パブリックフォルダーに設定されているアクセス許可(代理人アクセス許可など)

4.1.1 使用状況のレポート

すべてのパブリックフォルダーに関して、「名前」「アイテム総数」「サイズ」を表示するには、以下のコマンドを実行します。

```
Get-PublicFolder -Recurse | Get-PublicFolderStatistics | FT Name,Itemcount,TotalItemSize -AutoSize
```

```
PS C:\> Get-PublicFolder -Recurse | Get-PublicFolderStatistics | FT Name,ItemCount,TotalItemSize -AutoSize
```

Name	ItemCount	TotalItemSize
IPM_SUBTREE	0	0 B (0 bytes)
PF-2	14	29.89 MB (31,339,396 bytes)
PF-2-2	1	13.36 KB (13,680 bytes)
PF-One	20	10.24 MB (10,739,359 bytes)
PF-1-1	1	3.794 KB (3,885 bytes)

すべてのパブリックフォルダーのアクセス許可設定を表示するには、以下のコマンドを実行します。

```
Get-PublicFolder -Recurse | Get-PublicFolderClientPermission
```

```
PS C:\> Get-PublicFolder -Recurse | Get-PublicFolderClientPermission
```

FolderName	User	AccessRights
IPM_SUBTREE	既定	[Author]
IPM_SUBTREE	匿名	[None]
PF-2	既定	[Author]
PF-2	匿名	[None]
PF-2	佐藤 直樹	[PublishingEditor]
PF-2	管理者	[Owner]
PF-2-2	既定	[Author]
PF-2-2	匿名	[None]
PF-One	既定	[Author]
PF-One	匿名	[None]
PF-One	管理者	[Owner]
PF-1-1	既定	[Author]
PF-1-1	匿名	[None]
PF-1-1	管理者	[Owner]

指定したパブリックフォルダーに格納されているアイテムの詳細情報を表示するには、以下のコマンドを実行します。

Get-PublicFolderItemStatistics <パブリックフォルダーのパス> | FL

```
PS C:¥> Get-PublicFolderItemStatistics ¥PF-1 | FL

RunspaceId      : 6f707281-f902-4fd1-a50c-1b3b5da43899
Subject         : via Mail
PublicFolderName : ¥PF-1
LastModificationTime : 2013/02/15 6:14:37
CreationTime    : 2013/02/15 6:14:37
HasAttachments  : False
ItemType        : IPM.Note
MessageSize     : 11.39 KB (11,661 bytes)
Identity        : 1st-PF-MBX¥RgAAAACPsja+47vwQaQ1mMe/M83NBwCsruCt6gHPR5Xcdaniz7vr
                : AAAAAAARAACsruCt6gHPR5Xcdaniz7vrAAAAAASAAAJ
MailboxOwnerId  : 1st-PF-MBX
IsValid         : True
ObjectState     : New

RunspaceId      : 6f707281-f902-4fd1-a50c-1b3b5da43899
Subject         : 制限値に到達
PublicFolderName : ¥PF-1
LastModificationTime : 2013/02/15 2:02:33
CreationTime    : 2013/02/15 2:01:58
HasAttachments  : True
ItemType        : IPM.Post
MessageSize     : 1009 KB (1,033,189 bytes)
Identity        : 1st-PF-MBX¥RgAAAACPsja+47vwQaQ1mMe/M83NBwCsruCt6gHPR5Xcdaniz7vr
                : AAAAAAARAACsruCt6gHPR5Xcdaniz7vrAAAAAASRAAAW
MailboxOwnerId  : 1st-PF-MBX
IsValid         : True
ObjectState     : New

RunspaceId      : 6f707281-f902-4fd1-a50c-1b3b5da43899
Subject         : 警告が出るサイズ
PublicFolderName : ¥PF-1
LastModificationTime : 2013/02/15 1:59:52
CreationTime    : 2013/02/15 1:58:57
HasAttachments  : True
ItemType        : IPM.Post
MessageSize     : 1009 KB (1,033,194 bytes)
```